

第5節 子どもが安心・安全に行動できる地域づくり

1. 子どもにやさしい生活環境づくり

主要施策

- 〔1〕身近な遊び場の整備・充実
- 〔2〕子どもの健全育成活動の推進
- 〔3〕子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり

【主要施策】

〔1〕身近な遊び場の整備・充実

子どもが「遊び」を通じて創造性や社会性、協調性を身に付け、豊かな人間関係の基礎を築くことができるよう、安全にのびのびと遊ぶことができる環境の整備を推進します。

（1）遊び環境の充実

主要な施策（事業）	取組み方針	グループ	平成21年度評価	平成22年度評価
地域の公園や広場の充実	地域の子供たちが気軽に遊べ、自然と親しみ、地域住民とふれあえる遊び場として町内各地区に設置されている公園や広場を充実し活用を促進するとともに、子どもが安全にのびのび遊べる環境づくりに努めます。	土木グループ	自治会管理公園（3か所）の遊具の設置・改良・撤去費の一部を補助した。 補助した自治会公園（自治会） 宮北公民館前公園（宮北自治会） 野添住吉神社公園（宮山自治会） 古宮大歳神社内児童遊園地（古宮連合自治会）	自治会管理公園（2か所）の遊具の改良・撤去費の一部を補助した。 補助した自治会公園（自治会） 新幹線第6児童公園（本荘・古田南自治会） 新幹線第5児童公園（大中西自治会）
異年齢同士がふれあえる機会や場づくり	保育所、幼稚園、小・中学校をはじめ福祉施設や地域の各種施設を、子どもの遊び場や地域住民と子どもとの交流の場、子どもと高齢者のふれあいの場、子育てサークルの活動の場など子育て支援の拠点として有効に活用します。	福祉グループ すこやか環境グループ 学校教育グループ 生涯学習グループ	【福祉グループ】 保育園や子育て支援センターにおいて、異年齢間の世代間交流によるふれあい活動を実施した。 【すこやか環境グループ】 町内2校の中学3年生を対象に、思春期体験学習を実施し、乳幼児とふれあう交流の場を提供した。 【学校教育グループ】 「トライやる・ウィーク」を通して校種間の交流ができた。小中の連携も行事等を中心に充実した。高齢者との交流は幼稚園や小学校低学年でカリキュラム化されている。今年度は、「学校支援地域本部事業」を中心により活性化させていく予定をしていたが、新型インフルエンザの流行で活動は十分にできなかった。 【生涯学習グループ】 各施設での「トライやる・ウィーク」での中学生の受け入れや、放課後子ども教室で地域の高齢者及び地域住	【福祉グループ】 保育園や子育て支援センターにおいて、異年齢間の世代間交流によるふれあい活動を実施した。 【すこやか環境グループ】 町内2校の中学3年生を対象に、思春期体験学習を実施し、中学生と乳児・子育て中の母親（父親）とがふれあう場を提供した。 【学校教育グループ】 「トライやる・ウィーク」を通して校種間の交流ができた。小中の連携も行事等を中心に充実した。今年度は、新島連絡協議会の協力を得て、新規事業所の開拓が実現した。高齢者との交流は幼稚園や小学校低学年でカリキュラム化されている。また、「学校支援地域本部事業」の活用が進んだが、学校のニーズとボランティアの希望が適合していないことが課題である。

			民ボランティアとの交流を行っている。	<p>【生涯学習グループ】</p> <p>放課後子ども教室で地域の高齢者及び地域住民ボランティアとの交流を行っている。</p> <p>22年度もコミセン区単位で、子どもから高齢者が参加するふれあい運動会やコミセン祭り、レクリエーションスポーツ大会などの地域活動が、学校や各種施設を利用して活発に実施された。</p>
--	--	--	--------------------	---

(2) スポーツ・レクリエーション活動の機会の提供

主要な施策(事業)	取組み方針	グループ	平成21年度評価	平成22年度評価
地域スポーツ活動の推進	総合型地域スポーツクラブとして運営しているNPO法人「スポーツクラブ21 はりま」と連携し、子どもから高齢者、障がいのある人まで、誰もが地域で日常的に取り組めるスポーツ活動を推進します。また個人の体力に合った運動プログラムの指導・事業を展開します。	生涯学習グループ	「スポーツクラブ21 はりま」と連携を図り、子どもから高齢者の体力テストを実施し、その結果に基づき運動プログラムの指導・事業展開を行った。	「スポーツクラブ21 はりま」において、子どもいきいきスポーツ教室等を継続して実施するとともに、高齢者を対象とした貯筋運動を推進した。
子ども会活動などの充実	地域でのさまざまなスポーツや体験活動などを通して、感性豊かな人間性や健康な体づくりを推進するため、子ども会活動などを支援します。	生涯学習グループ	4校区の子ども会が合同で、春にスポーツ大会を実施し秋には芸術鑑賞会を実施した。	4校区の子ども会が合同で、春にスポーツ大会を実施し、夏には芸術鑑賞会を実施した。

(2) 子どもの健全育成活動の推進

家庭や学校での教育だけでなく、住民一人ひとりが子どもの健全育成に理解を深め、家庭、学校、地域が連携した子どもの健全育成を図る地域づくりを推進します。また、家庭、地域、学校、警察など関係団体が連携し、地域安全活動の強化、犯罪を誘発するような社会環境の浄化、青少年非行の防止、自主防犯思想の啓発・普及など地域の安全を確保する活動を推進します。

(1) 大人のモラル向上に向けた取り組みの充実

主要な施策(事業)	取組み方針	グループ	平成21年度評価	平成22年度評価
「大人が変われば、子どもも変わる運動」の推進	大人自身が姿勢を正し、モラルの向上に努めながら、地域の教育力を高める取り組みを推進します。地域で活動する少年補導委員や地域教育推進委員を中心に幅広い啓発活動に取り組めます。	学校教育グループ	少年補導委員は、街頭補導活動だけでなく、コンビニやビデオレンタル店等に協力を要請し町内環境浄化活動など、幅広く啓発に取り組んだ。	少年補導委員は、街頭補導活動だけでなく、コンビニやビデオレンタル店等に協力を要請し町内環境浄化活動など、幅広く啓発に取り組んだ。特に今年度は、兵庫県青少年愛護条例の啓発を事業所訪問するなかで実施した。

(2) 子どもの成長にふさわしい環境整備のための活動

主要な施策(事業)	取組み方針	グループ	平成21年度評価	平成22年度評価
社会環境の点検活動の推進	深夜飲食店、カラオケボックス等の遊興施設、非行少年少女のたまり場など、社会環境の悪化につながる場所の実態把握等に努め、青少年育成推進委員会で関係団体との連携を進めます。	学校教育グループ	少年補導委員が中心となり、実態把握に努めるとともに、青少年育成推進委員会で関係団体との連携ができた。	少年補導委員が中心となり、実態把握に努めるとともに、青少年育成推進委員会で関係団体との連携ができた。少年補導委員の人員確保に課題がある。
青少年対策事業の推進	暴走族追放・少年非行防止街頭啓発活動を実施し、青少年の健全育成を促進します。	学校教育グループ	学警連絡(学校と警察との連絡会)や青少年育成推進委員会などで、情報を交換するとともに連携を図られた。	昨年度に引き続き、学警連絡(学校と警察との連絡会)や青少年育成推進委員会などで、情報を交換するとともに連携を図られた。
青少年問題協議会などの活動の充実	青少年問題協議会などの啓発活動を充実し、住民の健全育成に対する理解促進と健全育成にふさわしい環境づくりに取り組みます。	生涯学習グループ	年間の取組み・テーマに沿って、住民の意識改革と啓発に努めた。	年間の取組み・テーマに沿って、住民の意識改革と啓発に努めた。
「広報はりま」などを通じた啓発活動の推進	広報紙などを通じ、青少年の健全育成に対する理解を深める啓発活動を引き続き実施します。	学校教育グループ 生涯学習グループ	【学校教育グループ】 食育や生活について広報はりまで啓発を行った。 【生涯学習グループ】 年間の取組み・テーマに沿って、住民の意識改革と啓発に努めた。	【学校教育グループ】 少年補導委員の活動内容の紹介、食育や生活について、また、教職員の研修内容の紹介を通して子ども理解のポイント等を広報はりまで啓発した。
地域住民との連携による青少年健全育成活動の推進	各学区組織との連携により地域住民による青少年に対する声かけや街頭啓発などを実施し、地域全体で青少年を見守り育成する環境づくりを促進します。 また、東播磨地域子育てネット交流大会の開催や、さわやか環境パトロールなど、子ども達への声かけ運動を展開し、地域をあげて見守り運動を推進します。	学校教育グループ 生涯学習グループ 危機管理グループ	【学校教育グループ】 青少年育成推進委員会が中心となり、PTAをはじめ関係団体との連携を図り、啓発に取り組んだ。 【生涯学習グループ】 東播磨地域子育てネット交流大会を開催 実施、さわやかパトロール等々、子ども達への声かけ運動を展開し、地域をあげて見守り運動を推進した。	【学校教育グループ】 昨年度に引き続き、青少年育成推進委員会が中心となり、PTAをはじめ関係団体との連携を図り、啓発に取り組んだ。 【生涯学習グループ】 東播磨地域子育てネット交流大会に参加した。さわやかパトロールや子ども達への声かけ運動を展開し、地域をあげて見守り運動を推進した。 【危機管理グループ】 自治会や、防犯団体、シニアクラブ等による防犯パトロールなど、子ども見守り活動を実施した。

〔 3 〕子どもと子育て家庭にやさしいまちづくり

子どもを安心して産み育てることができるよう、子どもや子育て家庭にとって配慮されたやさしい生活環境づくりが引き続き求められています。

子どもや子育て家庭を含め、地域に暮らすすべての人々が安心して暮らすことのできるまちを目指し、道路や歩道、公共施設のバリアフリー化、住環境の整備について、関係機関・団体と連携しながら取り組みます。

(1) 人にやさしい、子ども連れなどに配慮した公共施設の整備促進

主要な施策（事業）	取組み方針	グループ	平成 2 1 年度評価	平成 2 2 年度評価
福祉のまちづくり事業	すべての人に配慮した福祉のまちづくりを推進します。	福祉グループ	高齢者及び障害者が居宅で安心して生活が行なえるよう、住宅改造助成事業を実施した。	高齢者及び障害者が居宅で安心して生活が行なえるよう、住宅改造助成事業を実施した。
公共施設や道路の段差解消などバリアフリー化の促進	子ども連れでも安全かつ安心して外出できるよう、関係機関の連携のもと、既存の公共施設や道路の段差解消などバリアフリー化を引き続き促進します。	公共施設所管グループ	【生涯学習グループ】 各施設を点検し、必要に応じて改善するための検討を実施した。	【土木グループ】 町道土山新島線の歩道の切り下げ改良工事を実施し、歩道の段差解消を行った。
授乳コーナーやおむつ交換台、トイレ内のベビーカーチェアの設置などの推進	公共施設において、ベビーカーや車いすのためのスロープの設置、授乳コーナーやおむつ交換台、トイレ内のベビーカーチェアの設置を引き続き推進するとともに、民間施設に対しても設置協力を働きかけていきます。また、公園などの施設を『保護者からの視点』で点検するなど、子育て家庭と連携しながら推進します。	公共施設所管グループ	【生涯学習グループ】 各施設を点検し、必要に応じて改善するための検討を実施した。 【福祉グループ】 子育て中の親子が利用しやすいよう、南北子育て支援センターを中心に施設を点検した。また、母親クラブでも公園などの施設を『保護者からの視点』で点検する活動などを行った。	【福祉グループ】 子育て中の親子が利用しやすいよう、南北子育て支援センターを中心に施設を点検した。また、母親クラブでも公園などの施設を『保護者からの視点』で点検する活動などを行った。
ユニバーサルデザインの視点に立った施設整備促進	新たに整備する施設等については、ユニバーサルデザインの視点に立ち、子どもを含めたすべての住民が利用しやすい整備を促進します。	公共施設所管グループ	【生涯学習グループ】 各施設を点検し、必要に応じて改善するための検討を実施した。	【土木グループ】 町道土山新島線の歩道の切り下げ改良工事を実施し、歩道の段差解消を行った。

(2) 住環境の整備

主要な施策（事業）	取組み方針	グループ	平成 2 1 年度評価	平成 2 2 年度評価
快適な住環境づくりの促進	良好な住宅の誘導や供給、土地取引などの適正な指導に努め、快適な住環境を誘導します。	都市計画グループ	【都市計画グループ】 良好な住宅の誘導のため、開発指導を 1 6 件実施した。	【都市計画グループ】 良好で快適な住環境づくりとして古宮第 1 地区 3.7ha の地区計画を行い、その地区計画に合わせた建築指導を実施した。
居住者の健康を脅かす新たな問題への対応	アレルギー性疾患やシックハウス症候群など、住宅に起因する健康被害に対する相談・情報提供に努めます。	すこやか環境グループ	原因や症状に応じ適切と考えられる相談機関を紹介した。	原因や症状に応じ適切と考えられる相談機関を紹介した。

2. 子どもが犯罪や事故に巻き込まれない地域づくり

主要施策

〔1〕子どもが犯罪や事故に巻き込まれない地域づくり

【主要施策】

〔1〕子どもが犯罪や事故に巻き込まれない地域づくり

子育て世代が安全・安心に生活することができるよう、良好な居住環境や道路交通環境等の整備に努めるとともに、年齢に応じた交通安全教育など地域の交通安全活動の支援を行い、住民一人ひとりの交通安全意識を高め安全で快適な交通環境の確保に努めます。

また、子ども自身が安全に暮らすことができるよう、犯罪や交通事故の怖さやそれらへの対応を学ぶ機会を設け、子ども自身の自助力の醸成を図ります。

(1) 防犯体制の強化

主要な施策(事業)	取組み方針	グループ	平成21年度評価	平成22年度評価
防犯対策事業の推進	コミュニティ活動の充実に応えるため、施設の整備を進めるとともに、コミュニティ組織による地域安全活動の充実や防犯活動の促進を図ります。	危機管理グループ	10団体に補助金を交付し、コミュニティ組織による地域安全活動の充実、防犯活動の促進を図った。今後も自治会等各種団体における取組みを推進、支援していく。	10団体に補助金を交付し、コミュニティ組織による地域安全活動の充実、防犯活動の促進を図った。今後も自治会等各種団体における取組みを推進、支援していく。
街灯補助事業	地域における犯罪の未然防止と安全で明るいまちづくりを推進するため、自治会が設置する街灯の電気代に対して、引き続き補助金を交付します。	危機管理グループ	例年通り、2月末に交付した。地域における犯罪の未然防止と安全で明るいまちづくりを推進するため、引き続き補助をする。	例年通り、2月末に交付した。夜間における地域での犯罪と事故の未然防止と安全で明るいまちづくりを推進するため、引き続き補助をする。
地域安全事業の推進	各小学校区に設置されている「こどもを守る110番の家」の取組みの充実を図るとともに、学校・地域・警察との連携を強化し、安全な地域コミュニティづくりを推進します。また、携帯電話のメール機能を活用し不審者情報を提供するなど地域での情報共有、防犯への取組みの強化を図ります。登下校の安全については、学校安全ボランティアを中心にPTAやボランティア団体と連携して取り組みます。	学校教育グループ	警察とも連携し、不審者情報は必要に応じて各学校園、コミセンなどに配布した。必要に応じて、教職員の交通安全指導・巡回指導を行った。播磨町における不審者の発生率は近隣市町に比べて少なかった。登下校の安全についてはスクールガードリーダーを中心にPTAやボランティア団体と連携が図れた。また、「こどもを守る110番の家」については、自治会の協力を得た。	警察とも連携し、不審者情報は必要に応じて各学校園、コミセンなどに配布した。必要に応じて、教職員の交通安全指導・巡回指導を行った。今年度も、播磨町における不審者の発生率は近隣市町に比べて少なかった。登下校の安全についてはPTAやボランティア団体と連携が図れた。また、「こどもを守る110番の家」については、自治会の協力を得た。また、今年度は老朽化した「こどもを守る110番」の家のステッカーの更新をした。
子ども自身の防犯意識の向上	子どもが犯罪に遭わないようにするため、防犯教室やCAP学習等の防犯指導を行い、子ども自身の防犯に対する意識の向上を図ります。	危機管理グループ 学校教育グループ		<p>【危機管理グループ】</p> <p>子どもが犯罪や事故に遭わないよう、青色パトロールカーによる防災意識の向上と啓発活動を実施している。</p> <p>【学校教育グループ】</p> <p>防犯教室やCAP研修を実施するとともに、小学校高学年、中学生には思春期教育を行った。</p>

(2) 安全な学校施設の整備

主要な施策(事業)	取組み方針	グループ	平成21年度評価	平成22年度評価
学校の安全確保を図る取り組みの推進	最近の学校での犯罪発生を踏まえ、来訪者を確認できる施設整備計画や見通しの確保、通報システムの各教室への導入など対策が求められていることから、マニュアルに沿った防犯訓練やプロによる実地研修を行うなど、学校での安全確保を図る取り組みを推進します。	教育総務グループ 学校教育グループ	県警ホットライン、門扉施錠システムなどの対策を講じている	県警ホットライン、門扉施錠システムなどの対策を講じている。各学校園の計画に沿った防犯教育を実施している。

(3) 交通安全の啓発

主要な施策(事業)	取組み方針	グループ	平成21年度評価	平成22年度評価
交通安全教育・啓発事業の推進	保育所や幼稚園、小学校において、警察の協力のもと、講話やビデオ、実技指導などによる交通安全教室を実施します。また、子どもが正しい交通ルールを学び、交通事故の防止につながるよう啓発活動を引き続き推進します。	危機管理グループ	<p>【すこやか環境グループ】</p> 全保育園や幼稚園、小学校における交通安全教育の実施及び、交通公園や校庭での衝突・巻き込み実験を実施した。今後も各園校年1回警察の協力を得て交通安全教室を引続き開催する。	<p>【危機管理グループ】</p> 保育園や幼稚園、小学校における交通安全教室を警察の協力を得て実施した。今後も交通安全教室を引続き開催する。
シートベルト、チャイルドシートの正しい使用方法の啓発	自動車運転時の事故による死亡者を減らすため、シートベルトの着用義務及びチャイルドシートの正しい使用について、あらゆる機会・媒体を通じて積極的に広報・啓発活動を展開します。	危機管理グループ	土山駅及び播磨町駅前において、加古川警察署及び播磨町交通安全連絡協議会と共に街頭啓発活動を実施した。また、擬似パトカー巡回時にシートベルト着用義務を周知する広報を実施した。今後も交通安全週間に啓発活動を引続き実施する。	全国交通安全運動期間中に、土山駅及び播磨町駅前、加古川警察署及び播磨町交通安全連絡協議会と共に街頭啓発活動を実施した。今後も引き続き啓発活動を実施する。
児童等の安全な自転車利用の推進	改正道路交通法の施行により、自転車乗用中の幼児・児童のヘルメット着用が努力義務となっていることから、ヘルメットの着用促進を図ります。また、平成21年7月より使用が認められた幼児2人を乗せることができる3人乗り自転車の普及啓発に努めます。	危機管理グループ 福祉グループ		<p>【福祉グループ】</p> 3人乗り自転車のレンタル事業を行い、3人乗り自転車の普及啓発に努めた。

(4) 安全な通園・通学路の確保

主要な施策(事業)	取組み方針	グループ	平成21年度評価	平成22年度評価
<p>通園・通学路の安全確保の推進</p>	<p>通園・通学路の安全点検を実施するとともに、子どもや車いすに配慮した段差の解消などのバリアフリー化や防犯灯設備の充実など、通園・通学路の安全確保を推進します。 また、学校安全ボランティアの活動を支援し、子どもたちの通園・通学の安全確保を図ります。</p>	<p>学校教育グループ 教育総務グループ 危機管理グループ 土木グループ</p>	<p>【教育総務グループ】 登下校(園)時の幼児、児童、生徒の道路における交通の安全を保持するため、交通安全街頭指導員を配置しているが、平成21年度は、新たに2箇所交通指導員を配置した。</p> <p>【すこやか環境グループ】 小学校周辺の安全を点検する交通安全総点検を実施した。また、通園・通学路周辺における、交通安全施設及び防犯灯等の整備及び維持管理を行なった。</p> <p>【土木グループ】 町道二子五反田北線の歩道の切り下げ工事を実施し、歩道の段差解消を行った。</p>	<p>【教育総務グループ】 登下校(園)時の幼児、児童、生徒の道路における交通の安全を保持するため、平成22年度も交通安全街頭指導員を配置した。</p> <p>【危機管理グループ】 交通安全運動期間中に、小学校周辺の安全を点検する交通安全総点検を実施した。また、通園・通学路周辺における、交通安全施設及び防犯灯等の整備及び維持管理を行った。</p> <p>【土木グループ】 町道土山新島線の歩道の切り下げ改良工事を実施し、歩道の段差解消を行った。</p>